

# 水 拓

## 12

### 目 次

|                               |            |
|-------------------------------|------------|
| 兵庫県漁協婦人部大会開催さる.....           | 1          |
| 体 験 発 表.....                  | 2          |
| 竹野協漁協婦人部.....                 | 鳴海 光代... 2 |
| 佐野       //       .....       | 宮本 初子... 3 |
| 岩見       //       .....       | 大西 君子... 4 |
| 神戸市西部 //       .....          | 来田 照子... 5 |
| フィッシュ・ポンプを併用する袋網の合理化について..... | 6          |
| 楽 餓 鬼 帖.....                  | 8          |
| 浮かぶ職場 水産試験場、兵庫丸.....          | 9          |

兵庫県漁業協同組合連合会  
財団法人 兵庫県水産業改良普及協会

# 第九回

## 兵庫県漁協婦人部大会開催さる

去る十一月十三日、水産会館にて、第九回兵庫県漁協婦人部大会が兵庫県漁協婦人部連合会の主催によって開催された。

早朝より或いは前日から県下漁協婦人部員二百五十余名、来賓、関係者四十余名が一堂に参集し、盛大に開催されました。

大会の開会にあたり、畑中会長より挨拶があり、大会宣言に続いて来賓祝辞として兵庫県農林部長、県漁連会長、信漁連会長のそれぞれ祝辞があつて、去る十月京都で行はれた、第九回全国漁協婦人部大会、及び、ブロック会議の報告あり、午後に入り、

豊岡市立港西小学校長、渡辺先生より「母性愛」と題し講演があつた。引続いて体験発表があり好評を博した。本年は特に八名が体験発表を行い婦人部活動や家計簿、或いは月給制度等有意義なものであつた。午後四時第九回兵庫県漁協婦人部大会も盛会裡に閉会された。

### 体験発表者

漁協婦人部を省りみて

明石浦漁協婦人部

名 田 博 子

竹野浜漁協婦人部の活動状況について

竹野浜漁協婦人部

鳴 海 光 代

私たち婦人部の再建について

佐野漁協婦人部

宮 本 初 子

私たち婦人部の将来について

神戸市西部漁協婦人部

(垂水支部)

中 谷 あきえ

私の生活設計

岩見漁協婦人部

大 西 君 子

月給制のくらしから

香住町漁協婦人部

伊 藤 静 江

埋立てられた漁場

神戸市西部漁協婦人部

(駒ヶ林支部)

来 田 照 子

我が家の家計簿を反省して

江井漁協婦人部

魚 井 幸 代

以上八漁協婦人部からの発表がありました。次に発表内容を掲載いたします。

尚紙面、図等の関係もあり未掲載の発表内容については、次号に掲載したく考えております。

## 大会宣言

近年、日本経済の著しい高度成長に伴い、漁村においても沿岸漁業構造改善事業の実施、或いは、沿岸漁業者の久しく待望した漁業災害補償法の成立等、漁村にも新たな施策が講ぜられ、沿岸漁業の近代化、合理化に拍車がかけられ、私たち漁民の明日への生活に一つの希望がもたらされるに至りました。

しかしながら、他産業との経済格差の増大と相まって、漁村経済安定化への途は、ひとしおきびしく私たちの行く手には様々な困難が横たわっており、漁村生活の向上を阻んでいると言うのが現状であります。

このときにあたり、ここに私たち県下漁協婦人部員が一堂に会し現下の情勢を深くみつめ、決意を新たに、堅く結び合い、この苦難の道を通りこえ、漁業協同組合を中心に、漁業生産の向上に励み、生活の改善を行い、貯蓄の増強など図り、明るい村づくりの推進に努めることを固く誓います。

宣言します。

昭和三十九年十一月十三日

第九回兵庫県漁協婦人部大会

## 大会決議

私たちはお互いの自覚と努力によって豊かな生活、明るい住みよい漁村を築きあげるために、本日この大会において、次の事項を今後の活動の中で実践することを決議します。

一、漁協婦人部の組織活動を正しく

生かすと共に、自信と誇りをもつて漁協運動を推進します。

一、子供の家庭教育に力を入れ、暖かく明るい家庭づくりに努力します。

一、社会性を身につけて漁村環境をよくし、一層の社会知識の向上を計るため、婦人部員の教養活動を推進します。

## 竹野浜漁協婦人部の活動状況について

### するめいかの共同出荷

竹野浜漁協婦人部 鳴 海 光 代

みな様、本日は遠路御苦勞様でございます。

私の住んで居ります、竹野浜と申します所は御存知の方も多いかと思いますが、城崎温泉のとなりにある小さな漁村で、組合員数三百二十名で、動力漁船は百二十隻。年間の漁獲高は約五千万円でございます。私共婦人部は、結成されてから8年になります。その間漁家収入の増大と部員の知識向上につとめ、組合発展のために一致協力して活動も続けて参りました。

そうした活動の中で、あまりよい

のでございます。

しかし、竹野浜では、行商に出かける人が百人あまりも居りまして、この人たちのために朝市が四時にはサイレンをならすことになっていました。するめいか取漁に出ている船は、その市にまにあうように帰ってくるために、十二時すぎには漁場を切りあげて帰港しなければなりませんので他の港の船とくらべて、操業時間が約半分くらいです。又たまに良い漁があつて、多くとれても、仲買がいなかったため、行商の人達も手一杯で安く買いたたかれてしまっています。

それで盛漁期になりますと、3トン前後の船は朝まで仕事をして、香住や柴山津居山などよその港に入る船が多くなってきました。他に入ると、ねだんの点ではよいのですが、浜揚、トロ箱借、整理など一人でやらなければなりませんので、仲々大変です。それに販売手数料も、他港船ということで少し高い歩合をとられます。

一通りの仕事をすませて、竹野に帰ってくるのが、お昼近くになり、次の出漁まではほんの二、三時間。ひどい時はねる時間もなくて、家の者と話合う時間もない状態でござい

す。

このようなことから、何とか販売方法について解決のみちはないものかと、研究クラブや組合の人たちで検討をされました結果が共同出荷を、ということになったのでございます。今まで他港に入っていた人たちが、中心になって、するめいか共同出荷グループが、35年につくられたのでございます。

するめいかの出荷は箱詰作業が多く、手間を必要としますので、出荷グループの婦人部員25名が主体となって、その他手のすいたような方にお願ひして、箱詰作業をうけ負うことにしました。

約30隻の船が、朝まで操業をして帰り、浜揚された、いかを、部員が箱詰して、その後を、組合の販売部にお世話になったのです。そして時間があまっている時には、次の出荷の箱打ちを行いまして、部員の賃金は時間当り50円づつで支払われました。

このようにして、3年ほど続けて参りましたが、問題として、出て参りましたことは、

1 箱詰作業が未熟なため、作業時間が長くなり、イカの鮮度が落ちてくること。

2 毎日出荷の量に変動があるために、京阪神の市場で、他より低値で販売されること。

以上のようなことでございます。

はじめに目標としました、朝まで操業をして、竹野浜で販売するということにつきましては、一応達成でき、これによって主人たちも家でやすむ時間も増し、組合の水揚げも、上昇したわけでございます。現在では、漁船も近代化されて、少しづつ大きくなり、漁獲も増して来ました。又大漁貧乏という点から抜け出すためにも朝市は二回にわけられ、一回目は行商の人たちのために、二回目は仲買業者のためにと大体わけられて実施されています。

これで他区からの、仲買業者の方の参加がありますので、今までのような価格の暴落ということは少なくなりました。

そこで漁業者の側にとっても、組合側にとりましても、一つの溢路が開かれたのだと存じます。

この他、組合で経営しております、人工乾燥機の加工人夫にも協力して居ります。又、購買事業でえた、活動資金の余りで今年はず布団を新調いたし、<sup>（？）</sup>へ寄贈いたしました。

他からごらんになれば、貧弱な組合だと申されるかも知りませんが私共婦人部員と致しましては、いつも表裏一体となって協力し、漁家の地位向上、自分達の立場をまず自覚し自らの努力で高めて参らなければならぬと考えて居ります。

只今の所、港が悪くて、なやみの種となっていますが、組合が中心になって改修運動にのり出しています。

## 私たち婦人部の再建について

佐野漁協婦人部

宮 本 初 子

本日私達は佐野漁協婦人部の再建経過について発表する様依頼を受けたのですが発足後日が、浅く、お聞きの皆様は満足戴ける様な発表は出来なと思います、其の点予めお断りし、御容赦願いたく存じます。

それでは其の経過についてであります、私達の婦人部の創設は、昭和三十年の六月で、当初に於ける活動は目ざましく、購買貯蓄生活改善と、各種事業が活発に展開され貯蓄事業については昭和三十三年に全国表彰を受けるなど、充実した活動を行って居りました。その当時は部員

す。この私共の念願も町当局の協力で何とか見通しがつきそうだとこのと、承って居りますので、嬉しいことだと存じて居ります。

以上、まともにもなく、ささやかな活動の一端を発表させて頂きました、今後共皆さまの御指導を、よろしくお願い致したいと存じます。御静聴有りがとうございました。

数も百二十余名と世帯も大きく、漁業家庭の婦人層と漁業に関係のない一般家庭の婦人の方にも加入して戴き、私達の先輩は会を、スムーズに運営して居りました。然しこの活動も三、四年前頃より段々下火に成り最近に至っては婦人部とは、名のみで、その活動は全く停止すると云う状態にまで至って居りました。

そこで昨年末頃より、婦人部直直しについて組合の役員の方にも集って戴き、旧役員及び部員有志で話し合い、その下火に成った原因などについて協議致しました。其の際婦人

部不振の原因として上げられた主なものとして、

第一に 部員構成上の問題点

第二に 事業活動を行う時間的余裕の減少

第三に 事業に対する予算の裏付けがはつきり得られなかった事。

第四に 事業に対する部員の熱意が消失して居る事などが、あげられました。

最初の部員構成についてであります、旧の組織では漁業家庭以外の一般家庭部員が相当数加入して居る事で、加えて、二、三年間に佐野地区の漁業家庭の半数以上が、他産業に転業したため、全部員数百二十余名の中、実際漁業に関係のある部員は、四十余名しか無く、その為、漁協婦人部と云い乍ら、半数以上は漁業、そして婦人部活動に、関心の無い層によって、示められて居り、漁家と一般家庭の部員との意見の相違、或は遠慮などが加わり、活動を停滞させたものと、考えられます。

当初は信用事業活動を行う上に於て、一般家庭を加えた方が範囲も広く、貯蓄増大の目的達成には有利でしたが、組織の成立には不利な様でございました。

第二の婦人部会合の時間的余裕のなくなった事についてであります。当初の漁家婦人部員は朝、主人を、沖へ送り出した後、掃除、洗濯、などの家事をすませ、後は船の帰るまで時間に余裕がございました。その為当時の婦人部事業の一つに協同で内職を導入したり、副業のあっせんなどを行い、如何に余暇を善用するかが、一つのテーマでした。その為部員会合の集りも、好成績でしたが最近では部員の九割までが近くの工場、或は自宅での内職、地元の水産加工場へと勤めをもって、家計の補いに致して居り、家に居るのは乳飲子の居る家庭の婦人位の方でございます。ですから一寸した会合と云っても中々其の時間的余裕がなく、簡単に会合を開けなくなった事も活動衰退の原因に成ったものと、考えられます。

其の他先程話しました事業資金の問題、部員自体の熱意等の問題が上げられる訳ではございますが、これ等の諸点を反省し、婦人部活動再開を目ざし、今年の一月頃より数回に渡り、協議し、方針を話し合いました。そして婦人部部員を漁業関係者のみに限定すると云う基本をもって部員をつのり、去る四月十二日に、

再建総会を行いました。結果部員数六四名をもって、再出発を行い、組織は小さいが内容の充実したものと云う目標で最初から余り欲張らず出来る事から除々に根を伸ばし枝をつけ花を咲かせようと云う事で活動を行って居ります。現在の所、一応他、町、村婦人部の行って居ります様な事業で、購買信用、生活改善など小規模ながら、スタートさせて居ります。購買については、主として、日用雑貨を扱って居り、仕入れは組合でして戴き、物品は便宜上役員の自宅に置かしてもらいそこで、買いに行つて戴く様致して居ります。私共の方でも御多聞にもれず主婦の店の出現と身内に店屋が多いため、仲々やりにくうございます。信用事業は、組合信用部もタイアップしこれは、創設以来続いて居ります。三年満期の日十円積立貯金があります。今年の六月で第三回目を終了したので、新に第四回目積立をはじめ、部員全員と、一般の人を加え、八十余名が行つて居ります。其の他の事業として特に環境衛生子弟教育の面についての研究及び活動を真剣に、考えたく思い、現在月一回の浜掃除年二回、蚊、はえ、の撲滅運動などが行つて居ります。又、子弟教育面に

於きましては、昨年来より開いて居り、珠算教室がございます。主として漁家の小、中学生を対象として居りますが、他部落からも来て居り、又就職希望の高校生もまじり、週三回練習致して居ります。

大体以上の様なものでございますが、勤めと家事をもって居る部員が多いため、色々な問題が山積致して居りますが、努力して一つ一つ解決

## 私の生活設計

岩見漁協婦人部

大 西 君 子

私たちの住んでいる村は、東は姫路、西は大石神社で有名な赤穂岬で前には家島を控え環境は非常に良い所であります。

約四分の一の人が漁業に従事しており、大部分が近くの富士鉄、大セ

ル、中鉄と言った大会社やその他に勤務されておりますが、漁業者は、一般に比し水準が低いように思われ、私たち漁村婦人は、漁協婦人部

を設け、色々有意義な話しや又日用品も一円でも安いものを買えるよう努力致しまして、購買事業を始めました。

一時姫路の方面へ行つてスーパー

して行きたいと存じて居ります。と過に角去の実績は別として今年の四月より一年生からの出発と目覚し、先進婦人部の皆様方の御指導を仰ぎ、又、系統諸機関の御協力を得て、小さな芽を大きく育てて行きたいものと念願致して居ります。なお、本日は御出席の諸先生方の御助言を戴けますれば幸だと存じます。

マーケット等で一度にたくさん買つて来ておりましたが、かへって多く、使い駄目でした。入用のものだけその時、その時に買って帰る方が、得で現在では私たち婦人部の購買品を利用してあります。

又本年始めより竜野改良普及所のお力添へによりまして、岩見生活教室が開講されました、料理、手芸等種々勉強しております。

組合の方からも貯金をすすめられ毎月五日に水揚の一割を婦人部の貯金日にして少しづつでもと思ひ、これに協力しております。来月より月二回に増やし少しでも貯金にと努力

しております。

私の家は六人家族で、主人と利、長男は大学、次男は高二一年、三男は本年春郵政局に勤務し夜学に通っており、長女は新中二年ですが、私の用事を手伝ってくれ、子供の学費と思ひ、毎月参千円、風呂屋に行ったつもりで千円、地代として千円、燃料費として千円合計参千円を、貯金して来ましたのでこれを子供の学費として支出しております。

私たちの漁業は五月頃よりぼつぼつ漁獲があり六月より十月頃までに一年中の水揚げを致しますので、月々五万円を半期の定期預金にして、十

二月以後五月まで月々出せるようにしています。冬の間魚がぜんぜん獲れず三月までは網仕事ばかりして暮しておりますが、閑漁期でも楽に暮していけます。又その年漁獲高が多

く春までにその貯金に余ゆうがあればいつまでも定期にして、家を修理したり、納屋を建てたりしており、今は小さいのですがもう一戸納屋を建て、賃貸料を取れるようにして、私たちが働けなくなった時の事を思いと老後も考え貯金にして行く心算です。以上をもちまして発表を終らせます。

## 埋立てられた漁場

神戸市西部漁協婦人部（駒ヶ林支部）

来 田 照 子

私の所属して居ります婦人部は、全国にも名高い風光明媚な舞子、須磨を持つ神戸市西部漁業組合婦人部の東端にあります。駒ヶ林地区婦人部であります。設立されてもう早や十年を迎えようとして居るのでございますが、当時は貯金事業に購買事業にと役員始め部員一同一致協力してよくこれにつとめたのです。ところがスーパーマーケットの進出、各

商店のサービスの向上等から購買事業はのびなやみとなり、ついに総会の結果中止することとなったのです。このような事でもありますので都市の近郊にある漁場でもありますので貯金に、生活改善にいろいろなつとめましたが、そのつとみやみが出て来て思うようには進まず、ここで発表させて戴くような事も見あたりませんのですが、私達が今身近に感じ

た事をお話します。

昭和三十三年いまだ駒ヶ林浦漁業協同組合当私達沿岸は、神戸市発展の為に埋立てられる事となりました。勿論補償金を戴きました。しかし漁場を取られますので今後漁業が出来なくなる為、転業するに必要な補償であればよいのですが、雀の涙程の補償金をもらって六万坪と言う、膨大な海を埋立てられたのです。その間四年と言うものは、埋立てる為にすてられる塵と、土砂が車につまれ、一日に数限りなく運ばれてきては、すてられるのです。その塵が、潮の流れによって、流されて来ては、舟上げ場に打ちあげられて、それはそれは目を開けて見られぬ砂浜になるのです。毎日毎日、「ほうき」を持って掃除をするのですが、とても追いつきません。その上、地域での塵の回収が行きとどいてない為、皆浜に捨てにくるのです。そこで塵の回収について、地域の自治会の方々と話合せて、「ポリバケツ」を各家々にそなえ付ける事になり一週間に二回の回収日もきめられこれを実施する事になり、今日では地域の方々にも喜んで戴いてい

るしだいです。

近代工業地帯として、交って行く海岸の姿を見ては、神戸の発展、ひいては、自分の土地の発展の為に一役をかつていると言う誇りを持って、いやな日々を早く完成するようにと祈って暮したのです。それが次々と、完成されて行く土地に立って行ったのは何だったでしょう。石油タンクです。全部完成した今日では、林の如く立ちならんで海など見る事も出来なくなってしまうました。埋立以前よりある三菱、シエル、それに完成後立てられた丸善、兼松、エッソと、数種の石油会社その上、日本配合脂科、神戸生コン、し尿処理場と私達が考えていたような地帯ではなかったのです。その上、昨年より淡路フェリーの発着地になったのです。ただでさえ少なくなった漁船の発着場が、より一層せばめられたのです。その上一年に一度と言っている位天災に見舞われるのです。今までですと早くから舟をたいひさしていたのですが、海が見られないものですからついおくれがちになるのと埋立にある防波堤を過信するのです。

本年も申すに及ばず台風二〇号の為防波堤がこわれたのと、高潮がおしよせて来たのとで、おもわぬ大きな被害が出たのです。人の力では

出来ない事でも自然の力ではいともかんたんに出て来るのです。使用不能船五隻、大、中、小破の船が大半と言う今までにない災害に見舞われたのです。皆さん、ある週刊誌に、戦後、強くなったのは、女とクツ下ともう一つ漁業補償であると書かれていたそうです。

何も私達漁業者は好きこのんで、埋立てをやり補償を載っているのではありません。漁場が埋立てられる事により、水揚げは減少し、船の上げ下げには神経を使い、車の交通がはげしく、事故が続出しているのです。水揚げの減少に対しては、主人は日雇に主婦は内職にとそれぞれ苦労を重ねてこれをきりぬけているのです。

都市近代化又は、臨海工業地帯等のあほりを経て漁場を埋立てる沿岸漁業者が続出する事でしようが、一時的にもらった補償金をむさむさと使わず、漁場をなくした代償である事をよく考え、水揚げの減少、漁船の事故、天災等次々におこる色々の問題を考え、将来をよく見きわめて、できるだけの協力をなさいますようお祈りして、私の発表にさせて戴きます。

## フィッシュ・ポンプを併用する

### 袋待網の合理化について

東海区水産研究所漁具漁法部  
瀬戸内海栽培漁業センター伯方事業場

#### まえがき

昭和三十九年三月上旬、瀬戸内海大三島近傍に於けるイカナゴこませ網（袋待網）漁業に、混獲されるあ

イカナゴを待つて獲る漁法で、通常漁船二隻、乗組員六〜八名、網の大きさは両袖網の全長一五〇m〜三〇〇m、袋網の長さ四〇〜六〇mである。

などのレプトセファラスを損傷少なく採捕する目的をもって口径五〇mm（二吋）のFish Pumpを袋尻に接続して漁獲物の自動吸引揚げを実施した。その結果、従来方法による操業方法に比較して、労力の節減、漁獲物の活力の保持に好い成績を示したので、稚魚期あなごの採捕については別に報告する事として、今回はいかなごこませ網漁業の合理化について、述べることにした。

操業は潮の干満を利用するので、一日二回が普通で、夜間操業はしない。一回の操業時間は二〜四時間で、投網に一〇〜二〇分、揚網には二〇〜三〇分かかる。

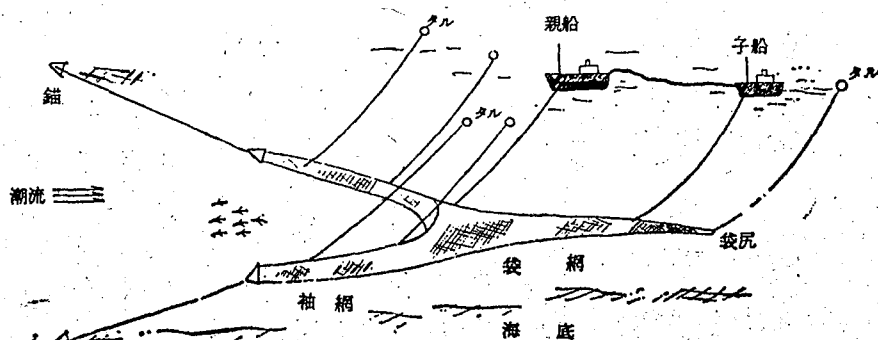
漁獲物は子船に袋部を随時引上げて袋尻よりとり出す操業一回当りの漁獲高は三〇〇〜五〇〇Kg程度で、漁期は二月より四月までの三カ月間である。イカナゴ漁が終了すると、シラス、カタクチイワシ漁に移る。

漁獲高、選期ともに後者が大きい。袋尻より漁獲物を獲る作業の所要時間は一回当り五〜一〇分で、一潮の操業中通常一〇回程度、漁獲物の多い時は五〇回に及ぶこともある。

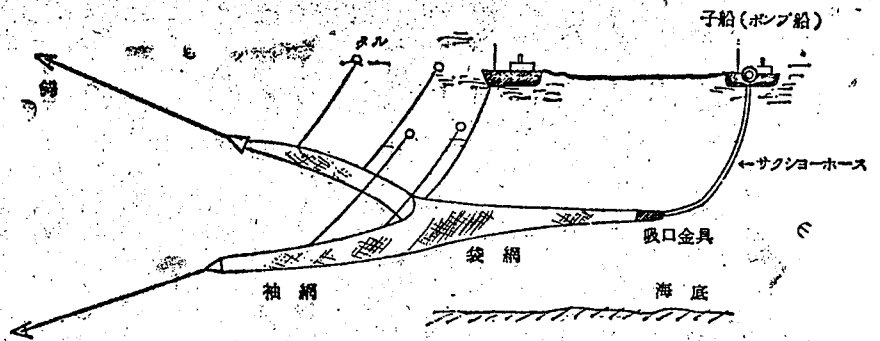
#### 1 Fish Pump併用による利点

袋待網は1図のように、袋網と両袖網から成り、これを速い潮流の場所に、流れを利用してV字型に設置し、潮流に押し流されてくる魚群（

図のように、子船に設置した口径五〇mmのFish Pumpのサクシヨンホースを、袋部水深の約三倍程度の長さにとって、袋尻に接合し、投網より揚網するまでの二〜四時間の操業中、連続的かつ自動的にイカナゴその他の漁獲物を吸引上げる方式のものである。この方式の利点は



1図 袋待網操業見取図



2図 Fish pump 操業見取図

① 従来方法のような操業時の袋網の揚げ降しのために必要な労働人員、労働時間が皆無に等しくなり、著しい省力化ができる。

例

一 操業当りの袋の揚げ降し回数Nは二〇〜三〇回

一 操業当りの袋の揚げ降し所要時間Tは五〜一〇分

② 従来方法のように、どんな魚種が、どのくらいあるか、自動的に直ちに分るので、漁場、漁期、操業時間の合理的計画が容易である。

③ 実質操業時間を著しく延長できるから、漁獲の増大ができる。即ち従来の袋の揚げ降し作業中は網成りが大きく崩れているから、漁獲は皆無に等しい。この無駄になる時間N・Tは操業通算時間二〜四時間に對して二〇〜五〇%にも達する。

④ 大漁の時はN・Tも比例して大きくなるから無駄が増大する。

⑤ 魚が傷まないから、従来方法によるものより高価に取引ができる。また混獲される有用魚のLARVAが生きたまま採捕できるから、これを栽培漁業の種苗として活用できるのみならず、副収入ともなる。

袋揚げの負荷張力(推定) Rは三〇〜一〇〇kg

袋揚げの負荷移動距離Lは一〇〜二〇m

作業人員三〜四名による作業量はR・L・N・Tである。

② 袋中に這入った魚群を直ちに吸い上げるから、袋の中で魚同士、魚と異物、魚と網などの競合、加圧、擦れ合いがないから魚が傷まない。

③ 操業中のどの時間に、どんな魚種が、どのくらいあるか、自動的に直ちに分るので、漁場、漁期、操業時間の合理的計画が容易である。

④ 実質操業時間を著しく延長できるから、漁獲の増大ができる。即ち従来の袋の揚げ降し作業中は網成りが大きく崩れているから、漁獲は皆無に等しい。この無駄になる時間N・Tは操業通算時間二〜四時間に對して二〇〜五〇%にも達する。

⑤ 大漁の時はN・Tも比例して大きくなるから無駄が増大する。

⑥ 魚が傷まないから、従来方法によるものより高価に取引ができる。また混獲される有用魚のLARVAが生きたまま採捕できるから、これを栽培漁業の種苗として活用できるのみならず、副収入ともなる。

⑥ 蓄養して魚価の安定、収入の増大が容易である。

2 イカナゴこませ網当業船にFish Pumpを新設するに要する費用概算

| 品名                         | 数量       | 価格         | 記事            |
|----------------------------|----------|------------|---------------|
| 口径50mm (水中モーター付) Fish Pump | 一式       | 50千円〜150千円 | 50千円は200W 1HP |
| サクシヨンホース                   | 50m      | 35〃        | 4P 鋼線入        |
| デリベリーホース                   | 5m       | 2〃         | 4P            |
| 吸口金具、接続管、他                 |          | 2〜5        |               |
| 計                          | 89〜142千円 | ①          |               |

漁期間平均水揚額 1500〜3000kg

50〜100kgとして②

① F・P新設費②水揚費は約

1 10

③ F・P新設費④人件費は⑤

⑥

Pump及びホースの耐用年数は前者3〜10年、後者1年と見積って比較すればFish Pump新設による得失は明らかである。

(季刊紙栽培漁業より転載)



## 楽 餓 鬼 帳

## ⑪ 吾一人しんどうなる

生れたての赤ん坊でも十五年たてば親よりも大きくなる。

四、五年見なかった子供の大きくなったのに目をみはること、しばしばだ。

と同時にそれだけぼくも老い(?)ているのか。

精神年齢だけは若いつもりでも肉体が承知して呉れない。

頭がめっきりうすく淋しくなり、シワも又その数を増す。

一葉落ちて天下の秋を知る

そんなことが他人ごとではなく、実感として湧く。

○

一湾の青さも、みゆるかぎりの空の青さも小春の十一月十一日。

漁業共済事業説明会のため、淡路の事務担当者等が一堂に会した。

小黑さんの懇切な講義も、三浦さんの熱心な説明も、まだまだ頭に消化しきれないままに、ぼくは用件があつて行けなかったが、養魚場の視察も終り引き続いて職員協議会に移

った。

改めてながめる面々は、十年昔も今もあまり変わっていない。

「昔はよく集ったものだが、年を追う毎による回数が少なくなつてゆくナー」

と、ぼくと同じように昔を懐古するのが、ぼくの隣りに坐を占める沼島の金丸さん

「お互に、しんどうなつたのではないか」

と、ぼく

二十才代は、それでも理想があり、ファイトもあつた。

仕事に対する熱もあつたが、人並に結婚し、長男が出来、次男が生まれてくるようになると、生活苦が我が身を責める。

泣きごととはできるだけひかえており、口に出さぬように努めているものの、組合の給料ではとても現在の物価高の社会を、泳いでゆけない。

(その上、ぼくには人にいえない、人に知れない、冷たい風がニヶ月の空ッ風のように吹きつける)

そんなこんなでぼくは熱もさめ、理想もうすれ、やがてファイトもすり切れようとしているのが、いつわらざる心境だ。

金丸さんにあいつちを打った「お互に」というのは、ぼく一人だけのものであつたかも知らない。

○

男前だから老けたとは感じられないが、頭髪順に白さを呈してきた室津の松下さんから、さされた盃も、ぼくには久しぶりに口にするアルコール、

漁業組合で覚えた酒の悪癖も、経済上から止めざるを得なくなつてもう四年にもなるだろうか。

○

三々五々に話し合い、声高に笑う諸君の中の一人として静かに、ぼくは考えた。

只コツコツと勤めた十幾年、手に職もなく、金もうけの道も知らないぼくのこの道。

さりとて、

この道よりわれのゆく道なし、只、この道をゆく。

という信念にも乏しいぼくは、

ここで一番公私ともに大きく青写真を考え直し、沈没寸前にあるぼくのボディそのものを、何はさておいてもドックに入れて修理しなくてはな

らない羽目に迫られている」と。

○

人の胸によるこびをのせ、又悲しみをものせて航行する客船のように、或いはぼくの考えとはあべこべな境遇の職員も、或いはぼく以上に深刻な職員も一つにして晩秋初冬の一室は、かくして平和に暮れゆく。

○

最後に「今度の協議会は沼島でやりましょう」と会長に選ばれた育波の山本さんの一声は、何かをやるそしてやってくれるという心強いひらめきにキャッチした。

会を止じて帰る途中、それでもぼくは十三と九つになる人間の親だ。まだまだ十年や二十年は頑張らねばと、きらめく星座へ誓つたものだ。

山上 健 蔵



# 浮かぶ職場

## 県立水産試験場 兵庫丸

十一月かに解禁、その鮮明な朱紅色、風格ある姿態、冬の味覚の王者ずわいがにの登場である。全国生産量の約四〇%を水揚げする本県底曳漁業、その基地香住では連日物揚げ場一杯に畳々とかにのカーペットが敷かれ、せり市の呼び声が高まる。

活気に満ちた漁船群にまじってわが職場試験船兵庫丸は静かに舳をたててたむろするこの経済性の高いかに資源診断のためにもう何千尾のかにをとり、その脚にかれんなピンク色のビニールの足がざりをつけて放ったことだろう。いったん底曳網でとられたかにはノギスで甲巾を測定され、またゆらゆらと三〇〇mの海底に舞い降りて行く。

「万里横行」するといふかにの移動をたしかめるための標識放流調査だ。このような調査が漁場の選択やかにの生活様式を知る目安になり、ひいては資源の維持をはかるために役に立つ。

昭和二十六年三月進水、総屯数五

一屯ジーセルエンジン一六〇HP、巡航速力八ノットの木造船は満十三年八カ月の潮風を浸み込ませて何かしら重々しい風情がある。農林部水産課、水産試験場漁業課に属し、但馬専任の技師二名のほか、船長以下十一名の乗組員によって運航され進

水以来本県漁船漁業の振興の先兵としてともに年波を越えてきた。とはいふものの高度に機械化され、開発された近年の漁船漁業の振興になお寄与するための魚族の生態調査、海洋棲息環境の分析など長い年月営々として確実な、しかし単調な基礎資料を採りその記録の蓄積が必要であり、また一面その時宜に応じた各漁業種別の新漁場開発、漁具の改良導入、漁況の予測、漁場造成のための調査など応用的、直接的な調査試験が要求される。

このような他面的な試験調査を遂行するためには職員は船舶運航、保守の要員であるとともにあらゆる漁具操作、技術に習熟した一かどの漁

夫でなければならぬ。

他の部門に比べ人と接遇することは少ないがその代り常に「浮かぶ職場を守って苛烈な自然との対決がある。とくにチームワークが最も尊重されねばならない職場であるといふことができよう。薩南のサバ漁場にはじまり、遠くリマン海域のカラフトマス漁場まで種々の漁業試験、調査、指導を実施してきた。その一つ一つにそれぞれ苦しい、楽しい感慨がある。

しかし全員が県漁民からたのましがられる船でありたいと常に念願しつつ励まし合っている。でも淡路漁業者の対島集団出漁指導で苦菜をともにした数カ月、また至難とされていた日本海中央部の大和堆で始めて底曳網を入れまっ赤なホッコアカエビが網一杯に跳ねているのをみたときの感激は忘れることができない。開発された大和堆や深海底曳漁場から春秋のころ漁船が満載して帰るアカエビをみるとそこはかといとはしい感激に浸るのである。

(同試験場名角技師)

**NEC** の技術を誇る画期的な沿岸漁業用魚探機

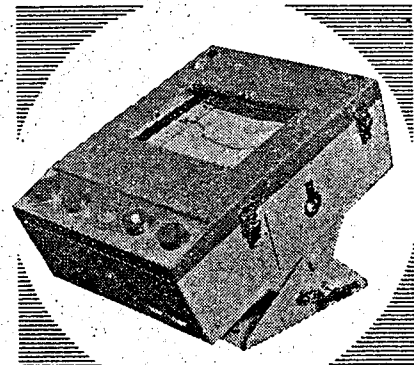
オールトランジスタ

**FC 10**

無接点方式

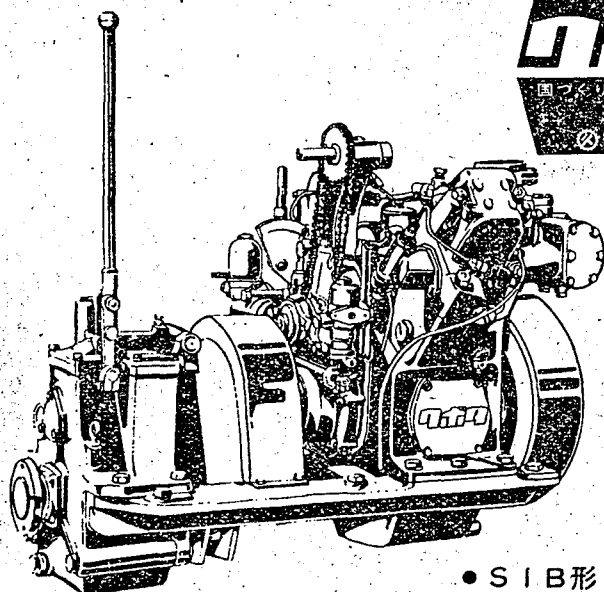
海上電機株式会社

本社 東京都千代田区神田錦町1-19 電話東京 (291) 2611-3 8181-3  
神戸営業所 神戸市生田区明石町32(明海ビル) 電話 (13) 2628-3701 (39) 2380

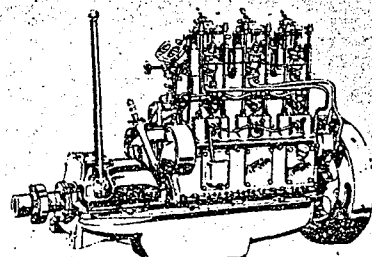


〈ディーゼルの総合メーカー・クボタ〉主機用4〜380馬力/補機用8〜1,000馬力

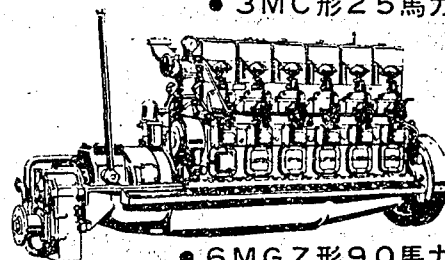
# 《いつも漁場に一番のり》 マリンディーゼル



●S1B形10馬力



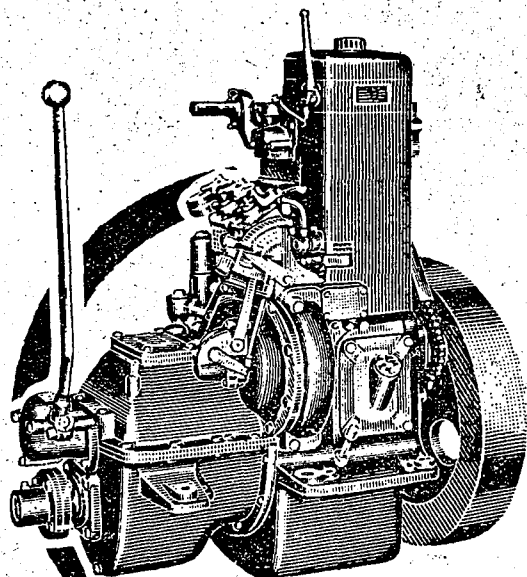
●3MC形25馬力



●6MGZ形90馬力

## クボタ特約店

|         |           |          |
|---------|-----------|----------|
| 平野鉄工所   | 飾磨郡家島町真浦  | TEL228   |
| 〃 飾磨営業所 | 姫路市飾磨区須加  | TEL50124 |
| 南兵庫クボタ機 | 三原郡三原町市村  | TEL134   |
| 阪神機械船塀  | 神戸市兵庫区門口町 | TEL77549 |
| 橋立造船船塀  | 宮津市住吉     | TEL2163  |
| 北兵庫クボタ機 | 美方郡浜坂町    | TEL448   |
| 高橋鉄工所   | 城崎郡香住町    | TEL471   |
| 米島鉄工所   | 揖保郡御津町岩見  | TEL75    |
| 寺坂鉄工所   | 赤穂市坂越     |          |

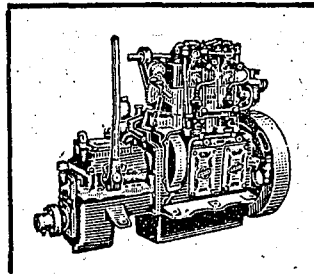


●E形(8馬力)  
●EG形(10馬力)

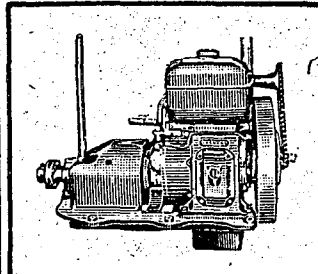
## ●早く漁場へ、早く市場へ

# ヤンマーディーゼル

●船舶主機用 / 3〜800馬力



●2ST形 12馬力



●NTS70R形 3馬力



ヤンマーディーゼル株式会社

〈本社〉 大阪市北区茶屋町62  
〈支店〉 大阪・東京・福岡・札幌・高松・広島・金沢  
〈出張所〉 岡山・旭川・大分

発行所 神戸市兵庫区新在家町 123 兵庫県立水産会館内 兵庫県漁業協同組合連合会  
発行人 三 浦 清 太 郎